

『国連研究』第20号 原稿募集

編集委員会

日本国際連合学会会員の皆さま

『国連研究』第20号（2019年6月刊行予定）の原稿を下記の要領で募集いたします。奮ってご応募ください。

I. 募集原稿の種類

1) 特集論文

第20号の特集テーマ：「変容する国際社会と国連」

（趣旨説明）

国際社会の変容を語る時、冷戦終結は大きな契機であった。アメリカとソ連（当時）の大国協調が実現し、特に長い間機能麻痺にあった国連安全保障理事会が機能をはじめた。その後、ソ連・東側諸国は民主化を実現し、国際協調の枠組みに参加することになった。とくに、これらの国々が世界貿易機関（WTO）等の国際経済機構にも参加することになり、多くの国家が様々な領域において国際協力に関与するようになった。しかし冷戦終結から20年以上がたち、国際社会は、構造的な変化を経験している。

最近では、アメリカが国際協調主義から一国中心主義へと後退する一方、中国、インドをはじめとするBRICs等の新興国の台頭は、G20の開催にもみられるように、国際的な意思決定において無視しえない。さらには、リベラル・デモクラシーを理念とする国々と、それに反発するロシアや中国などのような国々の間での対立も生じている。アジアインフラ投資銀行（AIIB）のように既存の国際経済体制とは異なる国際機構を創設する動きや、国際刑事裁判所（ICC）へのアフリカ連合（AU）の非協力決議といった既存の体制への抵抗もある。また、アラブの春を経験した多くの中東諸国では民主化路線が挫折し、国家の統制を強化することによる人権抑圧がみられる。このように国連が掲げてきた人権や法の支配、民主化の実現が一層難しくなっている。

グローバルな諸課題も、その領域はますます広がりを見せている。冷戦終結後、人間の安全保障のように、国家に対する安全保障のみならず最も脆弱な人々への安全や能力強化、ニーズを考える考え方が登場したが、グローバル化の加速度的な進展に伴う問題は従来型の国家間協力では対応しきれなくなっている。国内紛争、核兵器などの大量破壊兵器、テロ、人権、人道、経済、開発、保健衛生、地球環境などの分野における諸問題が、それぞれに複合的に連動するようになり、国連システムにおける既存の枠組みの転換や相互の連携や横断的な対応が必要となってきた。

このような国際社会の変容の中で、さまざまな領域に非国家主体が一層大きな役割を果たしている。国連をはじめとした国際機構は、非政府機関（NGO）や企業などと連携をし、場合によっては、そのような組織に自発的、自治的ともいえる行動を促すことで、パートナーシップを構築しようとしている。たとえば、2030持続可能な開発アジェンダ（SDGs）ではその動きは一層明確に示されている。

国連はこうした国際社会の変容のさなかにあって、安定的に機能を維持していけるかが問われている。現在生じている変容の諸側面は既存の国連の枠組みに対しどのような挑戦となるのか。国連はこの変容に対してどのような転換を遂げられるか。国連は国際秩序の変容をどう促しているのか。日本国際連合学会20周年と『国連研究』20号という節目にあたり、国際社会の動態を探り、国連という組織の機能、課題を検討したい。安全保障・軍縮、人権・人道、経済・持続可能な開発など諸領域に加え、国連と加盟国の関係や非国家主体との関係など、募集の分野は広く想定したい。

2) 実務家等の視点に基づく政策レビュー

『国連研究』では、実務家の方々等による現場の目を通した論考も掲載しています。国連における、また国連に対する政策レビューや提言などをお寄せください。

3) 独立論文

特集テーマとかわからない書下ろしの論考は「独立論文」として投稿を受け付けています。

4) 書評論文

国連研究ならびに広く国際関係研究に貢献をしたと評価できる関連する複数の編著書（和文・欧文）を紹介・批評し、議論を展開する論考です。

5) 書評

一冊の編著書（和文・欧文）が国連研究ならびに広く国際関係研究にどのような貢献をしたかについて紹介・批評するものです。原則として過去2年以内に出版された学術書を対象とします。

II. 応募方法と締め切り

1) から4) の論文タイトルおよび論文趣旨（800字程度）を、2018年8月5日（日）までに下記アドレスまで電子メールでお送りください。また5) の書評執筆申し込みまたは書評対象候補の推薦については、2018年7月27日（金）までをお願いします。

桜美林大学 滝澤美佐子（『国連研究』編集主任）

E-mail: takizawa@obirin.ac.jp

III. 採否

1) から4) に関してお送りいただいた論文タイトルと論文趣旨ならびに5) の書評に関する執筆申し込みと書評対象書の推薦を検討し、まず「執筆」の可否を決定してご連絡いたします。

「執筆可」の場合には、原稿をご執筆いただき、11月20日（火）までに完成原稿をご提出ください。提出原稿は、編集委員会が依頼する査読を経たのち、修正が必要な場合は修正をお願いした上で、最終的な「掲載の可否」を決定いたします。

IV. 応募ならびに完成原稿の提出締め切り日程

- ・ 書評の執筆申し込みと対象文献の推薦 2018年7月27日（金）
- ・ 論文（特集論文、政策レビュー、独立論文、書評論文）応募（タイトルおよび趣旨）2018年8月5日（日）
- ・ 完成原稿（特集論文、政策レビュー、独立論文、書評論文、書評）2018年11月20日（火）
- ・ 『国連研究』第20号発行予定 2019年6月

V. 執筆要領・編集要領について

執筆要領ならびに編集要領は学会ウェブサイトに掲載されていますのでご覧ください。